

2021年9月11日
株式会社フィスコ (3807 JASDAQ)

「機関投資家&アナリスト 企業調査レポートアワード」2020年 ～評価項目は ESG、CSR、ビジネスモデル、成長性、社員満足度など～

株式会社フィスコ(本社:東京都港区、代表取締役社長:狩野仁志、以下「フィスコ」)は、フィスコ企業調査レポート(<http://www.fisco.co.jp/service/report.html>)を活用した企業の表彰制度「機関投資家&アナリスト 企業調査レポートアワード」の2021年版を発表いたしました。

評価項目は、フィスコがアナリストの中から選出した審査員から希望が多かったESG、CSR、ビジネスモデル、成長性、社員満足度、企業価値の伸び率に絞り、当該審査員に2020年1年間にリリースされたフィスコ企業調査レポートの中から各評価項目の各々上位5社を選出してもらっています。なお、審査員が全会一致で1社を1位に選出した場合、最高得点数は50点となります。

■ESG(環境・社会・ガバナンス)

1位 エスプール<2471>	30点
2位 いちご<2337>	19点
3位 エヌ・シー・エヌ<7057>	12点
4位 RS Technologies<3445>	11点
5位 日本再生可能エネルギーインフラ投資法人<9283>	10点
5位 シュッピン<3179>	10点

1位のエスプールは、世界の代表的な ESG指数である「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に初選定されたほか、米国のMSCI社によるESG 格付けの評価において「AA」を獲得した実績が評価されました。また、女性社員数が男性社員数を上回り、女性の社会進出に貢献している点を評価する声も聞かれました。2位はいちご。2025年までに事業活動で消費する電力を100%再生可能エネルギーにする目標を掲げた点を評価する審査員が多くいました。3位のエヌ・シー・エヌについては、大規模木造で実現するZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)に期待する声がありました。

■CSR(企業の社会的責任)

1位 SBSホールディングス<2384>	30点
2位 GMOグローバルサインHD<3788>	22点
3位 TKP<3479>	12点
4位 富士ソフト<9749>	11点
4位 エスプール<2471>	11点
6位 CAICA<2315>	10点

1位はSBSホールディングス。中長期環境計画を制定したうえでCO2排出量抑制や資源循環などに取り組んでいる点、その具体的なアクションとして環境配慮型車両の導入を増やしている点などが評価されました。2位はGMOグローバルサインHD。電子認証や電子印鑑サービスを提供し、脱ハンコ、ペーパーレス化に貢献している点が評価されました。また、この分野での旗頭的な存在として、対外的な発信等を含めた積極的な取り組みに期待したいとの声も聞かれました。3位はTKP。「TKP職域ワクチンセンター」を迅速に立ち上げ、ワクチン接種の加速に貢献した点について評価する審査員が多くいました。

■ビジネスモデル

1位 神戸物産<3038>	25点
2位 エリアリンク<8914>	16点
3位 バイク王&カンパニー<3377>	12点
4位 フォーバル<8275>	10点
5位 アウトソーシング<2427>	7点

1位の神戸物産には多くの声が寄せられました。ビジネスモデルの分析に関しては、「フランチャイズでの店舗展開により固定費が圧縮できる」、「企画から製造、販売までを垂直統合したSPAビジネスモデルにより、店舗数が増えるほどPB商品の生産効率が上がり、収益性が高まる」、「食材を独自に海外で生産・仕入することで調達コストを抑えている」といった評価がありました。また、「高まるハードルを越えてくる姿には脱帽」との声も聞かれました。2位はエリアリンク。トランクルームを中核としたニッチなストレージ業界でトップシェアを誇る点に評価が集まりました。

■成長性

1位 バイク王&カンパニー<3377>	28点
2位 フェローテックHD<6890>	16点
3位 テックポイント・インク<6697>	12点
4位 日本M&Aセンター<2127>	11点
5位 ラクス<3923>	10点

1位はバイク王&カンパニー。高いブランド力や独自の買取サービスなどの強みを背景に、今後も高市場価値車両を軸に成長期待が高いことに加え、コロナ禍で高まったバイク人気が進み追い風になるとの指摘がありました。2位はフェローテックHD。IoT、5Gの時代を迎えたことで半導体市場の拡大スピードは加速しており、マクロ環境が力強い追い風になるとの指摘がありました。また、EV分野を含め、持続的な成長に向けた投資に積極的な点も成長につながると評価されました。3位のテックポイント・インクも、拡大する半導体市場が進み追い風になるほか、CMOSイメージセンサーやドアフォン用(ハイビジョン対応)半導体製品など成長エンジンとなる材料が揃っている点に期待する声がありました。

■社員満足度

1位	パシフィックネット<3021>	35点
2位	フォーバル<8275>	17点
3位	ギグワークス<2375>	16点
3位	ナガイレーベン<7447>	16点
5位	GMOペパボ<3633>	12点

1位はパシフィックネット。コロナ禍という厳しい環境下においてもグループ全従業員へ特別賞与を支給した点や、全社的にテレワークや分散勤務・時短勤務を推進している点が評価されました。2位はフォーバル。健康経営優良法人 2020「ホワイト500」に認定された実績や、フリーワーク制度を導入し働き方改革を推進している点、社内推奨資格の取得支援として e ラーニングツールを提供し、社員の技能向上に積極的に取り組んでいる点などが評価されました。3位はギグワークス。女性活躍推進企業として「なでしこ銘柄」に 4 年連続で選定された実績のほか、年齢や勤続年数を前提とした年功序列的な賃金体系を見直し、若手でも成果に応じて高い報酬が得られる給与システムを採用した点などが評価されました。

■企業価値の伸び率(時価総額)

1位	Jストリーム<4308>	626%
2位	Abalance<3856>	564%
3位	ケアネット<2150>	513%
4位	すららネット<3998>	486%
4位	ブイキューブ<3681>	367%
6位	不二精機<6400>	327%

1位のJストリームは、コロナ禍で相対でのコミュニケーションが制限された中、ライブ中継や動画配信プラットフォームの需要が高まり業績が急成長フェーズに入りました。2位はAbalance。世界的に温室効果ガス排出削減の重要性が高まり、脱炭素の機運が強まるなか、一般住宅からメガソーラー向けの最先端太陽光モジュールの販売が伸びました。3位はケアネット。新型コロナウイルス感染症対策として製薬企業のMRによる医療機関への訪問自粛が続くなか、製薬業界での販促 DX 化が進展し、同社の医薬営業支援サービス が大幅に伸長しました。

昨今、コーポレートガバナンスやステュワードシップコードに関する議論が盛んであり、企業 IR への関心が高まっています。今回の表彰制度は短期投資でなく中長期投資を可能にするための環境作り、それを理解する投資家や経営者の増加を図ることを目的としています。

フィスコグループでは現在約 330 社のフィスコ企業調査レポートを執筆していますが、レポート数は今後更に増加してまいります。「機関投資家 & アナリスト企業調査レ



News Release

「ポートアワード」を創設することで、企業の開示姿勢をより良い方向に働きかけ、それがフィスコ企業調査レポートに反映されるというポジティブフィードバックを志向しており、今後も年に1回を目安に実施してまいります。

【株式会社フィスコの概要】

会社名:株式会社フィスコ <http://www.fisco.co.jp/>

所在地:東京都港区南青山五丁目13番3号

設立日:1995年5月15日

資本金:100百万円(2020年12月31日現在)

代表者:代表取締役社長 狩野 仁志

事業内容:金融機関、投資家、上場企業を支援する各種情報サービスの提供

以上